

-----  
神戸空襲犠牲者合同慰霊祭 2025年3月17日  
-----

第54回慰霊祭を開催。今回は運よく助かったが、4歳の時に空襲で焼かれてしまったかもしれない、という空襲体験者の榎靖夫さんのお話。お父様を空襲で亡くされた島津陽子さんが、お父様の戦災死の様子を、遺品を元に話された。また、長年誰にも話さなかったという父の死を涙ながらに話して下さった浦上幸子さん。3月17日兵庫区荒田町で空襲に遭われ、炎の中を自分たちは逃げたが、父は「火を消せ」と言われ、家に残り、近所の方と一緒に亡くなった、と話された。合わせて高校生平和大使の細谷美優花さん、体験者のお話を紙芝居に描いて下さった木村果鈴さんと、もりだくさんだったが、体験者のお話を若い世代への継承をテーマにした会となった。戦後80年を迎え、今回は東京、神奈川、名古屋など遠方からの参加もあり、80名を超えた。



司会は馬場さん

の



榎さんのお話